

平成29年度 第1回学校関係者評価報告書

鳥取県立境高等学校
 学校長 田淵 直記

評 価 日	平成29年7月21日（金）	
評 価 ・ 提 言		学校の所見・改善策等
1. 前年度の最終評価について ○ 学校関係者評価委員会の意見が反映された評価となっている。 2. 前年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について → 特に意見なし 3. 今年度の評価計画について (1) 目標設定について ○ 国公立大学合格者20名、つまり10名に1名を国公立大学に合格させたいという設定は、部活動と両立させながら、国公立大学を目指す生徒を境港で育てることだと思う。このことは大切にして欲しい。 ○ 国公立大学の数だけが一人歩きしてはいまいか。私立大学、専門学校、就職等、様々な進路を希望する生徒も大切にして欲しい。 (2) 目標達成のための取組について ○ SNSでの生徒のトラブル解消には、親の理解が必要である。親が子どもにスマホを持たせた意味を伝える機会が必要と思う。 (3) 評価基準及び評価指標について → 特に意見なし 4. 学校運営や予算に関する提言 ○ 校訓の「文武両道」の理念が一人ひとりの教員に身についていないと感じる。中学生への説明会の際等で丁寧に伝えるとよい。 ○ 習熟クラスの生徒を一層伸ばしたり、語学教育の充実を図ったりして、西部の高校の中でも一目置かれる高校になることをのぞむ。 ○ 都会（大阪等）の大学のオープンキャンパスに生徒を参加させて欲しい。 ○ 就職希望の生徒に対し、まとまった期間のインターンシップを実施すれば、境高卒業生の早期離職の防止につながる。 ○ 学校が境港市・市教委等との委員会を立ち上げ、境高生をいかに育てるべきか協議する中で、未来の境高のあり方を考えていただきたい。		1 について、昨年度第2回目の委員会で出た意見を参考に学力向上に関する評価をCからBに変更した。 3（1）について、2年次のキャリア研修では、訪問先を大学（国立・公立・私立）・専門学校など幅広く選定し実施している。国公立大学を目指す生徒の希望を実現させると言う意味で数値目標としているが、境高では生徒一人ひとりを大切に育てている。 3（2）について、保護者対象のスマホ講座も検討していきたい。 4 について、 ・7月に重点目標に「人間教育」を追加した。困ったことがおきれば支えあえる生徒集団を構築したい。 ・県外の大学訪問は予算措置が難しい。 ・就職希望の生徒には、応募前職場見学会やアルバイト（長期休業中）などの機会をとおしてミスマッチの防止につとめている。